

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年 7月 9日 (火)

### 2 確認箇所

H9タンクエリア

### 3 確認項目

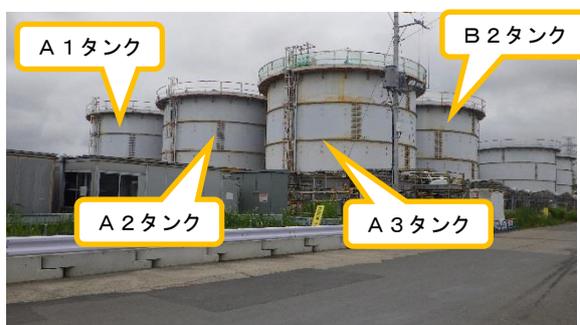
- (1) H9タンクエリアフランジ型タンクの現況
- (2) H9タンクエリア内堰配管貫通部の状況

### 4 確認結果の概要

#### (1) H9タンクエリアフランジ型タンクの現況について

前回 (5月9日) に引き続き、RO処理水(淡水)が貯留されているH9タンクエリアのフランジ型タンクの現況を確認した。H9タンクエリア(写真1)には、A1～A3及びB1、B2の5基のフランジ型タンクが設置されており、今回は、A2、A3及びB1、B2の4基のタンクを確認した。(A1タンクは前回確認済み。)

- ・フランジ型タンクの漏えいリスク低減対策として、第一段(タンク最下段)のフランジ部(写真2)に防水材料を施工することになっており、いずれのタンクも、確認した範囲ではシール材の施工に漏えいにつながるような劣化は確認されなかった。(写真3)
- ・タンクの側板や底部の表面に塗装の剥離や錆の発生が見られたが、目視した範囲では漏えいの痕跡や漏えいにつながるような劣化は確認されなかった。(写真4)
- ・なお、当該タンクエリアで貯留されているRO処理水(淡水)は、Dタンクエリアの溶接タンクに移送されることになっており、現在、Dタンクエリアにおいて移送のための準備作業が行われている。



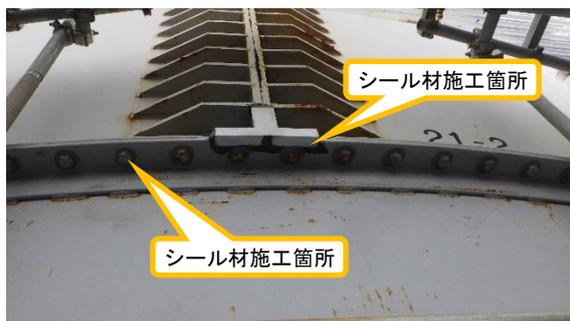
(写真1)

H9タンクエリアの状況

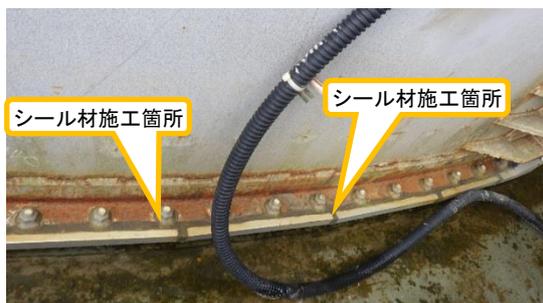
(エリア北東側から撮影)



(写真 2)  
第一段側板フランジ部の状況



(写真 3 - 1)  
第一段側板フランジのシール材施工の状況① (B1タンク 上部接合部の例)



(写真 3 - 2)  
第一段側板フランジのシール材施工の状況② (B1タンク 下部接合部の例)



(写真 3 - 3)  
第一段側板フランジのシール材施工の状況③  
(B1タンク 側部接合部の例)



(写真 4)  
タンク側板及び底部の表面の状況  
(A 2 タンクの例)

(2) H9タンクエリア内堰配管貫通部の状況について

H9タンクエリアにおける内堰の配管貫通部の現況を確認した。

- ・当該エリアには鋼製の内堰をRO処理水移送配管が貫通している箇所が2箇所あったが、貫通部の止水性に不具合は認められなかった。

(写真5)

なお、東京電力によると、いずれの貫通部も今年5月の定例点検で漏えいがないことを確認しているとのことであった。



(写真5) 配管内堰貫通箇所の状況 (A1タンクRO処理水移送配管の例)

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。